



Equality

—— 誰もが平等の権利を持つ社会へ ——

97号

コロナ禍

2020



文京区男女平等センター

2020をふりかえって

コロナの急激な感染拡大に伴い世の中が猛スピードで変化しました。男女平等センターもソーシャルディスタンスをとり、活動人数・利用目的の制限も継続中です。緊急事態宣言では会社や保育園、学校が休みとなり、在宅時間が長くなったことによる女性への家事育児等の負担の増加、パートナーからのDVの増加、また非正規労働者の雇い止めなど、弱いところにしわ寄せがきているだけでなく、若い女性の自死も問題になり始めました。SDGsの目標では、「2030年までにジェンダー平等は達成される」と設定されていましたが、コロナ禍でむしろ後退しているのではないかと気がかりでなりません。

文京区男女平等センター センター長 千代和子

2020年は世界女性会議における北京宣言・行動綱領採択から25年を迎える節目の年でした。この記念の年にあたり文京シビックセンターで、文京区とUN Women（国連女性機関）日本事務所、文京区女性団体連絡会が協働で男女平等参画の歴史を振り返る「男女平等 いま・むかし展」を開催しました。

また、2020年度は歴史に刻まれるであろう感染症拡大の年でもありましたが、男女平等センターでは様々な事業を実施しましたので紙上で総括いたします。



【2020年度 文京区男女平等センター事業 一覧】

2020年

- 4月3日～6月7日 感染症対応のため休館
- 6月21日 男女共同参画週間記念講演会（中止）
- 7月11日 落語で語る男女平等 ～落語 The PTA～
- 8月21日 第1回利用者懇談会
- 8月18日～9月21日 「男女平等どこから」アンケート調査実施
- 8月28日 新型コロナウイルス感染症について ～うつらないために、うつさないために～
- 9月18日 地球の未来を守るために ～SDGs時代のジェンダー平等～
- 10月17日・24日 帰りたくなる家 ～お父さんと一緒に整理整頓～
- 10月24日～25日 第35回男女平等センターまつり（中止）
- 10月31日 広報誌『Equality』95号（リニューアル号）発行
- 11月9日 絵手紙で楽しく年賀状をかきましょう ～はじめての挑戦!! 大歓迎です～
- 11月13日～15日 日本女性会議2020あいち刈谷（オンライン）参加
- 11月20日 コロナ禍!! エスカレートするDV ～一人一人にあった支援を～
- 12月4日 あなたのライフプランは! ～私の人生の勘定書き～
- 12月20日 広報誌『Equality』96号（アンケート調査報告号）発行

2021年

- 1月16日 もっと知ろう! 文京区の防災 ～感染症拡大防止と豪雨災害対応～
- 1月22日 ジェンダー平等社会を求めて ～コロナ禍と女性～
- 2月20日 映画会「ビリーブ 未来への大逆転」(中止)
- 2～3月 男女平等センター利用者アンケート実施
- 2～3月 第2回利用者懇談会（書面）
- 2月27日 登録団体活動フェア（中止）
- 2月28日 会社員・歌手・4人の子育て主夫 体験からの豊富なお話（オンライン）
- 3月6日 家庭生活への参画支援事業（中止）
- 3月31日 広報誌『Equality』97号（2020年度事業総括号）発行

男女平等 いま・むかし展 文京区女性団体連絡会出展パネル

1986年の開設より毎年実施されてきた、文京区男女平等センターまつりのポスターを軸に、その時代に起きたことをまとめてみました。振り返ると、女性の生き方が多様化したことに驚きます。



※詳細は「文女連だより89号」でもご覧いただけます

配偶者等暴力 防止・啓発事業

文京区男女平等センター事業 2020 配偶者等暴力防止啓発事業

コロナ禍!! エスカレートするDV

～ 一人一人にあった支援を ～

日時: 令和2年 **11月20日** (金)
午前10時～12時

講師
船尾豊子さん
(NPO法人男女平等参画推進みなと事務局長)

会場: 文京区男女平等センター研修室A
本郷4-8-3 (本郷真砂アーバンハイム1F)

定員: 30名(当日先着順 開場 9:30) **入場無料**



被害者自身が「自分がどうしたいのか」を考えることからすべてが始まり、支援者は何かをしてあげる存在ではなく、一緒に考え、本人がしたいことへ向かう一歩ずつの行動が大切、というお話でした。

私たちは、安心して話ができる存在になることが大事で、依存の存在になってはいけません。DVで悩んでいる人が第三者に語れるまでは簡単ではない。しかし、安心して話せると思った場所で、「あなたにも非があるのでは?」「なぜ、逃げないの?」といった二次被害を受けることも多いという示唆に富んだ講演でした。

プラスワンセミナーI 文京区男女平等センター事業 2020

落語で語る男女平等

～落語 the PTA～

役員は女の宿命？
会長は男の勲章？
PTAの七不思議！

講師
せんきんてい あたいせんきん
千金亭 値千金さん



日時 令和2年7月11日(土)
午後2時～4時
会場 文京区男女平等センター 研修室A
定員 25人(抽選) 入場無料

プラスワンセミナーII 文京区男女平等センター事業 2020

「あなたのライフプランは！」

～私の人生の勘定書き～

NHK あさイチ出演
スーパー主婦のライフプラン術

講師 家事アドバイザー
やまき みつえ
山崎 美津江 さん

- ・相模友の会(『婦人之友』読者の集り)会員
- ・「儲りたくなる家」著者
- ・雑誌『かぞくのじかん』にて「家の整理は心の整理」連載



日時 令和2年12月4日(金)
18:30～20:00 (開場 18:00) 入場無料
会場 文京区男女平等センター 研修室A
定員 30人(抽選)



創作落語では、議員に立候補するために是が非でもPTA会長になろうとする男性の、滑稽な私の張り合いと学校側の付度に、苦笑いが止まりませんでした。また、オリジナルの男女平等替え歌と一緒に歌い、笑いながら考えさせられる、有意義なひとときとなりました。



〈参加者アンケートより〉

- * 男女平等センターは、男女平等参画推進の拠点でありそれにふさわしい企画でした。
- * 落語を面白く楽しめました。ミニ講座は大変工夫が凝らされわかりやすい講義でした。
- * この年になるまでこの種の問題に立ち止まることなく生きてきたので勉強になりました。
- * たとえの使い方が身近で演者自身が平等に生きておられることが力強い講演となっていたと感じます。

〈参加者アンケートより〉

- * 生活の中から得られた数々の格言はさすがだと思いました。住まいに哲学を！夫だけでなく家族に話します。
- * 女性だけに受け入れられるものでない企画がととてもよかった。男性の意見を聞ける場に男女平等センターがあることがうれしい。
- * 熱心に講演いただき感謝しました。名言なども学べてよかったです。M・チクセントミハイさん(シカゴ大学・心理学者)の話など実に興味深く聞かせていただきました。

ワン セミナー

プラスになることを願って行っているセミナーです

プラスワンセミナーⅡ 文京区男女平等センター事業 2020

地球の未来を守るために ～SDGs時代のジェンダー平等～

SDGsって何か
を知ろう

北京会議から25年
を考える

講師
GSD アジア女性研究交流
フォーラム理事長
堀内光子さん
文京学院大学大学院客員教授
前文京区男女平等参画推進会議会長



日時 令和2年9月18日(金)
18:30～20:00 (開場 18:00)

会場 文京区男女平等センター 研修室A

定員 30人 (抽選) **入場無料**

プラスワンセミナーⅢ 文京区男女平等センター事業 2020

ジェンダー平等社会を求めて ～コロナ禍と女性～

シングルマザー・若い女性
の自死・非正規労働の問題な
どを考えます。

講師
早稲田大学名誉教授
浅倉むつ子さん



日時 令和3年1月22日(金)
18:30～20:00 (開場 18:00)

会場 文京区男女平等センター 研修室A

定員 30人 (申込順) **入場無料**

〈参加者アンケートより〉

- *堀内先生の鍛えぬかれた人間力の輝きを感じました。参加者からの質問にも、「相手の話を丁寧に聞く」姿勢に徹していて、講演だけでなく堀内先生から学ぶことが多かったセミナーでした。
- *ジェンダー平等への世界の進歩に比べて、日本は変化が遅い。日本が変われない理由は、前例主義。ジェンダーは女性の問題ではなく、社会・人類の課題だと思う、とのお話。深く本質に迫る充実した時間でした。
- *男女平等参画への歴史を感じました。すばらしくわかりやすい講演でした。
- *自分が、おかしいと思ったら声をあげることが必要だということが心に残りました。
- *今後も男女平等の本質を考える企画をお願いします。



「災害は誰にも無差別に災禍をもたらすが、その影響は決してすべての人々に同じではなく、脆弱な立場にある人々がいっそう深刻な影響を受ける。ジェンダー不平等な社会では、女性たちが過酷な現実さらされている」という、重く重要なテーマから始まりました。

「日本の変化が遅い。経済の男女格差は特に深刻」であり、「コロナ禍で、女性非正規労働者の雇い止め、ケア労働負担の増大、シングルマザーの収入減少、DV相談の増加、女性の自殺者数の増加」など、いかに深刻な事態であるか、具体的に教えて頂きました。お話をうかがい、ジェンダー平等の実現に取り組むことの意味の大きさを改めて痛感しました。



区政を知る事業

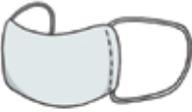
私たちが暮らす文京区の区政を、男女平等の観点から、これまでより少しでも詳しく知るために企画している事業。テーマに沿った区の担当者からの講義です

区政を知る事業 文京区男女平等センター事業 2020

新型コロナウイルス感染症について

～うつらないために、うつさないために～

感染症の現場で働く区の担当者、私たちはどう備えればいいのかうかがえます。



日時 8月28日(金)
14:00~15:30

講師 文京区予防対策課職員

会場 文京区男女平等センター 研修室A

定員 30人(抽選)

入場無料

区政を知る事業 文京区男女平等センター事業 2020

もっと知ろう！ 文京区の防災

令和時代の最重要キーワードは「感染症拡大防止」と「豪雨災害対応」



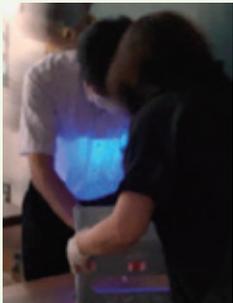
日時 1月16日(土)
14:00~15:30

講師 鈴木大助さん
(文京区危機管理室防災課長)

会場 文京区男女平等センター 研修室A

定員 30人(当日先着順)

入場無料



参加者が石鹸で手を洗った後、手洗いチェッカーの光をあてると、洗い残しがあることに驚きの声が出ました



避難所の現実：硬い床での雑魚寝・保たれないプライバシー・汚くて臭いトイレ・冷たくて毎日同じ食事・感染症

文京保健所・予防対策課からコロナ対策の最前線で奮闘している保健師の方も担当して下さい、手洗いの実践やPCR検査機などの機材を見せてもらいました。

感染症対策の観点からこれまでの防災対策と変わったこと。それは自宅での被害を確認して居住が可能であれば、「在宅避難」をして欲しいことです。そのためには住宅の耐震化を。今までは高齢者所帯のみ対象であった家具設置助成事業(区内・一所帯に上限2万円)が開始されました。また災害に対する準備、心構えを聞きました。

〈参加者アンケートより〉

- * 怖がり過ぎないための線引きができそうで良かった。
- * 明快な説明で理解が深まりました。
- * 感染症の現場のリアリティが伝わってきました。
- * 手洗いの体験は広がるべきです。
- * 区政を知る、という意味でもっと区の対策予防方針や区内の現状を知りたかったです。

〈参加者アンケートより〉

- * 誰にも重要な防災についての講座であり、この種のセミナーがシリーズ化できるとよいと思いました。
- * 区政を知る事業をうたっているわりには、防災に対する区の政策そのものの紹介、説明の部分が少なく思いました。四季における問題をテーマとした避難所開設訓練、要配慮者に対する支援なども話していただきたかったです。

家庭生活への参画支援事業

男女平等を実現するためには、男性の家庭生活への参画が不可欠です。
その視点から企画しているイベントです

家庭生活への参画支援事業 男女平等センター事業 2020
お父さんと一緒に整理整頓

帰りたいくなる家

NHK あさイチ出演の
スーパー主婦から極意を学ぶ

開催日 ① 10月17日(土)
② 10月24日(土)

時間 14:00 ~ 16:00
*受付開始13:30

講師 山崎 美津江 さん (家事アドバイザー)

- ・相模女の会『婦人之友』読者の集り 会員
- ・「帰りたいくなる家」著者



2回にわたり、父親と子ども達との対話形式で進むなかで、子ども達の声や顔に確かな変化があって驚かされました。

「帰りたいくなる家」とは、物の居場所・人の居場所をつくること。整理整頓は「ただいま動線」から始める、床こそインテリアの第一歩、などの納得名言も。

牛乳パックで作った「仕切り」を使って、引き出しの中のキッチン用品を整理し、レンジの油汚れを掃除しました。手で触って汚れを感じたり、どう仕切りを活用したらよいかを真剣に考える父子の姿が印象的でした。

片づけや清掃を、子どもが考えながら行動した結果「きれいになった！」体験は、家で味わう達成感になり、家族に褒められることが認められた！という自信になっていく、とのこと。

途中、講師が撮影した3.11直後の津波被害の写真を紹介。その上で「当たり前ができることの価値は、それを失った時に思い知らされます。生活の中の当たり前を大事にしてほしい。みなさんが、当たり前と思っている生活が出来ない子ども達がたくさんいます。貧しかったり、暴力で苦しんでいる同じ世代の、同じ時間を生きる人たちの力になれる人になって下さい」と山崎先生がきちんと向き合って大事なことを伝えていることに感銘を受けました。



日本女性会議2020あいち刈谷

文京区女性団体連絡会常任委員は、毎年実施される「日本女性会議」に、勉強のため2名が出席しています。今年はリモートで行われ、常任委員15名全員が受講しました。

基調講演は上野千鶴子さんによる「コロナ禍とジェンダー」。強く印象に残っているのは、女性が耐え、沈黙し、被害者でい続けることは、次の世代への加害者になるという発言。納得！

分科会は高齢社会、多文化共生、DV、防災、男性にとっての多文化共生、ライフ・ワーク・バランス、性の多様性、女性が輝けば地域も輝く、子ども・子育ての9分科会。性の多様性の分科会では、当事者の学校教員の方が、カミングアウトした時、生徒たちが自然に受け止めてくれた体験を語り、それがゴールではないこと、誰もがその存在を認め合い、住みやすい社会をつくって行くための自覚と貢献が必要とのことばが心に残りました。(宮崎)



直接講師の方や参加者と会えなくて残念でしたが、分科会、セクションを選択し平等センターと自宅でのオンライン参加、心は繋がっていると感じました。

もっと女性が政治に参加し、仕事、能力に応じて貢献する事、女性こそ社会変革の主体者という、上野千鶴子さんの感動的な講演に始まりました。

男らしく、女らしくではなく自分らしくという教育を受ける一方で「学校で感じなかったジェンダーギャップを社会で感じる」という若者の声…！

コロナ禍にあって、男女共同参画の重要性は一層高まっており、創意工夫を凝らし男女共同参画、女性活躍に向けた取組を大いに進めていく決意も新たにしました次第です。(土田)

女性活躍推進事業

男女平等センター講演会 & 歌

会社員、歌手、4人の子育て**主夫**

体験からの豊富なお話
~ヒットソング「home」のひと時を~

♪ 講師：
木山裕策さん

2021年2月28日(日)
時間 14:00~15:30
(開場: 13:30~)

場所 文京区男女平等センター 研修室A
文京区本郷 4-6-3 本郷アーバンハイヴ1F
(区立本郷小学校科の向かい)

定員 30名(抽選) 入場無料

申込:往復はがきに「女性活躍推進事業」参加者全員(1枚2名まで)の住所・氏名(フリガナ)、電話番号、送付両はがきに宛先を明記し、2月15日(日)までに男女平等センターへ

※手話通訳・保衛(1歳~10歳未満)希望者(区内在住・在勤・在学者)は申込時に「手話通訳又は保衛希望」を記載へ(保衛の場合は年齢も記載)

※お問合せ・申込先:文京区男女平等センター
電話:03-3814-6159 FAX:03-5689-4534
ホームページ:https://www.buneyo-donjo.jp/

主催 文京区女性団体連絡会



代表曲「ホーム」で
デビュー直前の
ご家族の写真

緊急事態宣言の中、文京区男女平等センターとしては初めてのYouTube生配信となりました。関係スタッフは本番前からとても緊張しましたが、木山さんのお力に頼るところも大きく、無事成功いたしました。ご自身のたどっていらした道のり、闘病、主夫として過ごした時間の幸せと大変さ、そして何より清々しい歌声、本当に幸せな時間でした。ネット上でしたが、多くの方にご参加いただけたイベントとなりました。



「家事・育児を担った事は、自分の為であり、結果として父親の自立に繋がる」という言葉が印象的でした。初めてのオンライン開催でしたが、何より木山さんのご協力もあり、無事成功させることができました。(増田)

2020年度のセンターの改善・改修

文京区男女平等センターでは、利用者がより快適・安全に利用頂けるよう、今年度もさまざまな整備を行いました



おむつ替え台は女性トイレに設置していましたが、女性・男性にかかわらずおむつ交換ができるよう、だれでもが使えるトイレに新たに設置しました。



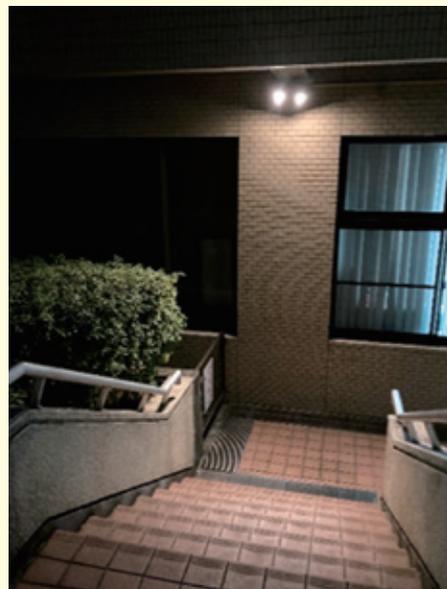
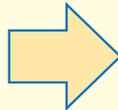
新しいロビーチェアを2セット設置しました。色は、女性や女兒に対する暴力のない明るい未来を象徴する色「オレンジ」、女性に対する暴力根絶の「パープルリボン」、この2色に近い色を選びました。



センター入口近辺の老朽化部分の対応として、玄関前タイルの貼り換えや玄関上部庇の改修工事、駐輪場陥没部修繕を行いました。皆様にはご協力いただきありがとうございました。



正面玄関



図書館側通路はこれまでスロープに夜間照明を行ってきましたが、階段部分を明るくするための照明を1月に設置しました。

「文京オレンジデーキャンペーン」を実施しました

11月25日は、国連の定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」です。

UN Women（国連女性機関）は、「オレンジ色」を暴力のない明るい未来を象徴する色として、11月25日から12月10日（人権デー）までの16日間、街中をオレンジ色に染める呼び掛けを世界中で行いました。文京区もUN Women（国連女性機関）日本事務所と協力して暴力撤廃を呼び掛けました。

【文京区の啓発活動】

シビックセンター区民ひろばで暴力防止啓発パネル展を行いました。

また、シビックセンターの三角屋根をオレンジ色にライトアップしました。



【暴力防止啓発 メッセージ動画】

パネル展の会場で、区内協力団体のメッセージ動画を放映しました。昨年度までにメッセージを頂いた団体に加え、今年度は中央大学ダイバーシティセンター様及び拓殖大学2020広報プロジェクトチームOmotenashi T-girls様からメッセージを頂きました。

協力団体（敬称略）

文京区女性団体連絡会、（公財）日本バスケットボール協会、（公財）日本サッカー協会、UN Women（国連女性機関）日本事務所、中央大学ダイバーシティセンター、拓殖大学2020広報プロジェクトチームOmotenashi T-girls

【犯罪被害者等相談会】

区内警察四署（富坂、本富士、大塚、駒込）の協力により、相談会を実施しました。

【中央大学理工学部】

構内での啓発品配布やポスター掲示等での周知・啓発、オレンジ色のイルミネーションのほか、春日通り沿いの掲示板をオレンジ色に染めるご協力をいただきました。



その他、文京区女性団体連絡会を始め、区内の大学・団体など大勢の皆様にご賛同をいただきました。ご協力ありがとうございました。

【DV防止啓発セミナー】

日時：2020年12月13日（日）午前10時～12時

会場：オンライン開催

講師：高田しのぶさん（オフィス悠々代表）

オフィス悠々代表の高田しのぶさんに、家庭や職場のイライラを上手にコントロールする方法について教えていただきました。

高田さんの講義と、オンライン上でのグループワークを織り交ぜることで、参加者は自分の怒りを振り返ることができました。

アンガーマネジメントについて詳しく知りたい方は、先生のブログをぜひご覧ください。

イライラの消しゴム <https://www.office-yuyu.com>



「アートから見える社会～自分を変えるきっかけをつかもう～」を開催しました

日時：2021年1月31日（日）午前10時～正午

会場：オンライン開催

講師：荒木夏実さん（東京藝術大学准教授／キュレーター）

森美術館等でキュレーターとしてご活躍され、現代美術と社会の関係に着目しアートを分かりやすく紹介する活動を展開している荒木夏実さんから、アートから見るジェンダー格差や、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）についてご講演いただきました。

美術史上での女性の扱いの変遷や、「女の子だから」という「呪いの言葉」、ジェンダー等の差を乗り越えるアート作品の紹介など、様々な切り口でジェンダー問題を分かりやすくご解説いただきました。『いい人』にならなくていい、自分らしくいていい、という荒木さんの真っすぐで力強い言葉に、勇気を頂いたご講演でした。

参加者のご感想（一部）

- 表現として自由なアートの世界で、これほどまでジェンダー問題が関わっているとは思っていませんでした。
- 挑戦していいんだよという言葉にとってもエンパワーされました。
- 声を上げる人が多くなれば、社会はきっと変わるはずと思い、私もできる行動をしたいと思います。

3月8日「国際女性デー」を記念しシンポジウムを開催しました

UN Women（国連女性機関）2021年国際女性デーテーマ

「リーダーシップを発揮する女性たち：コロナ禍の世界で平等な未来を実現する」

国連は、1975年の国際婦人年において、国際女性デーを祝い始めました。20世紀初頭の北米とヨーロッパにおける運動に端を発し、途上国と先進国の双方で、国際的な女性運動が広がってきました。国際女性デーは、一般の女性たちが達成してきた成果、そして勇気と決断をたたえる日として、全世界で記念イベントが開催されています。

文京区ではシンポジウム「サッカー×キャリア×未来～キャリアを活かし、未来を切り拓く～」を開催しました。前半はWEリーグ（一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ）初代チェアの岡島喜久子さんより「子どもたちの夢の限界をなくすためにできること」というテーマでご講演いただき、後半は元・なでしこジャパンの岩清水梓さん、順天堂大学スポーツ健康科学部助教の野口亜弥さん、UN Women（国連女性機関）日本事務所長の石川雅恵さん、成澤廣修文京区長を加え、（公財）ジョイセフ アドボカシー・マネージャーの斎藤文栄さんのモデレートの下、「未来に向かって、自分らしく生きるには」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

1人で悩んでいませんか？～悩みの相談をお受けしています～

区では、家族関係や人間関係、性被害、SOGI（性的指向や性自認）などに関するお悩みをカウンセラーがお受けする「文京区男女平等センター相談室」を開設しています。

いわゆる「コロナ禍」により、自宅に居る時間が増えることから家族関係に悩む方、また、環境の変化から学校や職場での人間関係に悩む方が増えているという報道もあります。1人で悩まず、相談してみませんか。

令和2年8月からは、SNS（LINE、Twitter）による相談を開始しました。電話や来談などのまとまった時間が取れない方でも、気軽にメッセージを送ることができます。

受付時間等は下記の通りです。ぜひご相談ください。

• 来室・電話相談

TEL：03-3812-7149（要予約）

※祝休日・年末年始・全館清掃日を除く

曜日	時間
月曜	10:00～16:00（受付15:00まで）
水曜	14:00～20:00（受付19:00まで）
金曜	10:00～20:00（受付19:00まで）

• SNS（LINE、Twitter）相談

ID検索「@bunkyo_soudan」または区ホームページのリンクからご利用ください。

日時：火・木・土曜 14:00～20:00（受付19:30まで）

詳細は区ホームページをご覧ください。

※祝休日・年末年始を除く

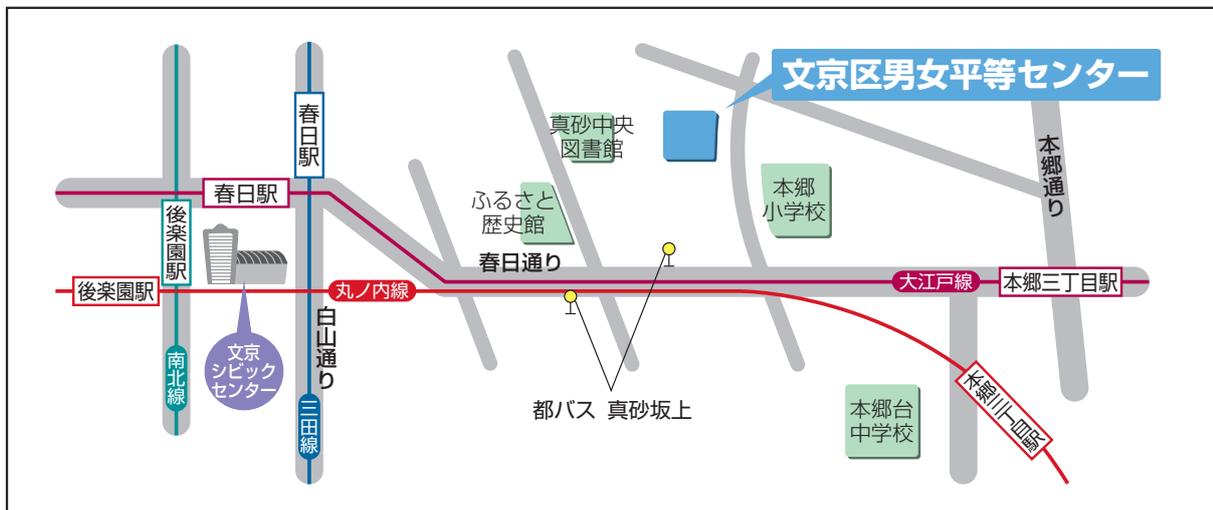


登録団体企画助成事業

男女平等センター登録団体で申請のあった団体から選抜し、
事業を行っています



用意された素材を参考に、こんな素敵な作品ができました



編集後記

2019年から始まった世界的パンデミックは、2021年3月の時点でも、まだ収束できるか正念場の状況です。過去を振り返ると100年前、世界で5億人が感染したスペイン風邪が日本にもやってきて、日本でも45万人の死者を出しています。休業、中止、廃業、不安、逆に身勝手…そんな中「黙食」を考えポスターを作られ、さらに、だれでもダウンロードできるようにしてくれたカレー屋さんには拍手を送りたい気持ちです。自身の思考と判断で自分と他者を守り抜く、そんなことが今、試されている気がしています。(大内)

2021年3月30日 発行 文京区女性団体連絡会会長 千代和子
編集担当 広報部 大内悦子・宇賀治みや子・荻本結加・近麻希子・宮崎黎子・面来美保・本山椋子
〒113-0033 文京区本郷4丁目8番3号 Tel.03-3814-6159 Fax.03-5689-4534
文京区男女平等センターは文京区女性団体連絡会が指定管理者として管理・運営しています。